

## 情報公開文書

研究の名称	悪性リンパ腫の STAT3 や STAT5b の遺伝子変異が病態や予後に及ぼす影響の後方視的検討
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学附属病院血液内科
研究責任者	佐藤 勉
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 本研究の対象となるのは、2018年5月～2023年4月までの間に富山大学附属病院血液内科で検査・加療が行われた悪性リンパ腫、特に T-LGLL の患者さんです。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 悪性リンパ腫、特に T-LGLL のリンパ腫細胞は STAT3 や STAT5 という遺伝子に異常があります。これが悪性リンパ腫の病態や予後とどのように関わるのかが不明です。この関係が明らかになると、STAT3 や STAT5 を標的とする新たな治療法の開発に活かされる可能性があります。</p> <p><b>【研究の方法】</b> カルテから得られる情報や、血液・骨髄・リンパ節検査で得られたデータを研究に用います。具体的な項目は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 年齢、性別、病歴、血液・骨髄・リンパ節検査のデータ、予後などに関する情報</li> <li>● 血液・骨髄・リンパ節検査の試料を用いた検討、すなわちリンパ腫細胞における STAT3 や STAT5b の遺伝子変異</li> </ul> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日～2025年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 今回の研究成果は学会や学術雑誌で発表される予定ですが、その内容に患者さん個人を特定できる情報は含みません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	上記【研究の方法】に記載の項目をカルテから抽出します。また、血液・骨髄・リンパ節検査の際に残余検体を用います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話：076-434-7232 FAX：076-434-5106

E-mail : tsutomus@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名：富山大学附属病院 血液内科 佐藤 勉